

がんセンターNEWS

Aichi Cancer Center News

第19号
平成19年1月1日発行
●
発行
愛知県がんセンター
Tel.052-762-6111(代)

信頼されるがん診療拠点病院を目指して



愛知県がんセンター
総長 高橋利忠

中央病院は、平成16年末の日本経済新聞社のアンケート調査において、「がん治療実力病院の第1位」という高い評価を得たことは、まだ記憶に新しいところですが、本年4月からは、新たに成立したがん対策基本法の施行に伴い、都道府県がん診療連携拠点病院として、より一層重要な役割を果たして行くことが期待されています。

また、少子高齢化が進み、医療を取り巻く厳しい環境の下、県民の皆様の御要望にお応えしていくため、特定機能病院の承認を得ることも視野に入れ、より高度で良質ながん医療の提供を目指し、病院、研究所が一体となって努力して参りたいと考えております。御支援よろしくお願い致します。

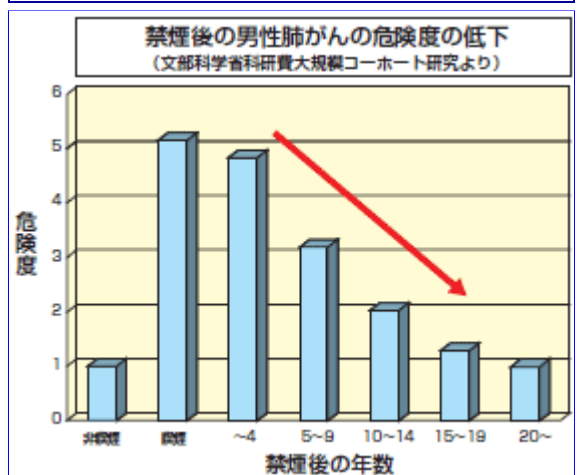
*「特定機能病院」とは高度な医療の提供、高度な医療技術の開発、高度な医療に関する研修を行い、かつ一定の要件を満たす病院で厚生労働大臣の承認を受けた病院のこと。自治体病院としては大阪府立成人病センターのみが指定を受けている。

敷地内全面禁煙から禁煙外来へ

今や日本人の二人に一人はがんにかかる時代を迎えています。疫学研究の結果から、単一の要因としてがんの危険度を最も高めているのは喫煙習慣と言われています。喫煙は肺がんや喉頭がんなど多くのがんの原因となり、心臓病や呼吸器疾患など他の生活習慣病の原因にもなります。

しかし、禁煙すると肺がんの危険度は徐々に下がり、喫煙者では5倍も高かった危険度が禁煙後15年以上で非喫煙者並みに低減します。世界保健機関や国際対がん連合は2020年までに世界の喫煙者の半分以上が禁煙すれば、約2億人の生命が救われると推計しており、アジアを中心とした国際的禁煙活動が活発化してきています。

禁煙後の男性肺がんの危険度の低下
(文部科学省科研費大規模コホート研究より)





当センターでは禁煙推進と受動喫煙の予防を目指し、平成13年度から館内禁煙としましたが、平成18年9月1日からは敷地内全面禁煙に踏み切りました。禁煙もがん治療の一環であることを認識していただき、再発を予防するために禁煙が重要であることをお伝えします。また、昨年禁煙外来に保険診療が適用されることになり、当センターにおいては、ニコチン依存で禁煙できない患者さまには禁煙をお手伝いするための禁煙外来の準備も進めています。一方、タバコの煙による妊婦や子供の将来への悪影響については計り知れません。皆さまには禁煙・分煙・防煙(喫煙習慣が身に付かないように予防すること)に是非ともご協力いただき、まわりの人たちと共に自らの健康増進に努めましょう。



Aichi Cancer Center News

中皮腫の病態解明から新たな診断・治療法へ

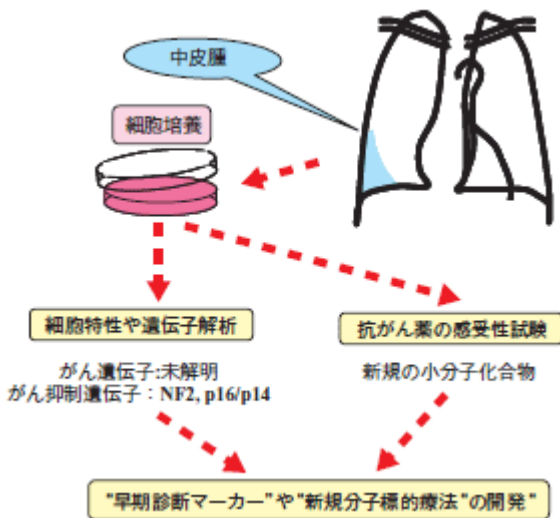
中皮腫はアスベスト曝露後平均30～40年の潜伏期を経て発症する悪性の腫瘍です。日本ではアスベストの使用規制が遅れたため中皮腫の発症は今後も増え続け、発症のピークは2025年頃と予想されています。

アスベストがどのように正常の中皮細胞に影響し、細胞の悪性化を引き起こすのかよく分かっていません。私どもは中皮腫の発症機構を明らかにするために国内・内外の多くの研究グループとともに共同研究を行っています。特に中皮腫の発生に関わる「がん遺伝子」や「がん抑制遺伝子」を解明する研究に精力的に取り組んでいます。

さらに、中皮腫患者の方の胸水や切除された組織から、特殊な培養液で半永久的に生きた状態で増殖させることができる「細胞株」の樹立に取り組み、現在10株の樹立に成功しています。これらを詳しく解析することで、新たな早期診断法や中皮腫の遺伝子変異に対する分子標的薬の開発に応用していきたいと考えています。

*「分子標的薬」とはがんの特異的な遺伝子変異を標的として作用する薬。従来の抗がん剤に比べて正常細胞に対する障害が少なく副作用が少ない。

図1. 分子腫瘍学部における中皮腫研究



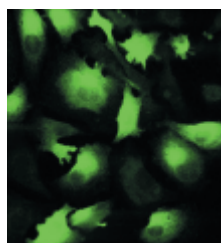
研究所からの報告



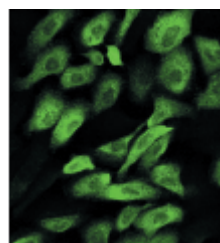
研究所
分子腫瘍学部

部長 関戸好孝

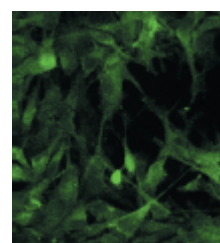
図2. 樹立された中皮腫細胞株におけるカルレチニンの発現



Y-MESO-11



Y-MESO-12



Y-MESO-14





クリスマス・コンサート

平成18年12月9日(土)に、入院患者さまを対象としたハンドベルクリスマスコンサートを開催しました。

今回で15回目となるクリスマスコンサート。金城学院大学の卒業生で結成されている「ケリーベルクワイア」の演奏によるハンドベルの美しい音色に、心が安らぐひとときでした。



Aichi Cancer Center News

中央病院からの報告

さまざまな患者さんの願いを実現するために



中央病院
緩和ケア部

部長 篠田 雅幸
(副院長兼務)

当センターは、がん専門病院として診断や治療だけでなく緩和ケアにおいても優れた医療の提供をしてきました。2001年12月には、「がんの進行や治療に伴って生じるさまざまな身体的・精神的苦痛に対して、適切な緩和ケアが迅速に実施できるように、全病院的に取り組むこと」を目的とした緩和ケアチームが結成されました。

緩和ケア部は、この分野でさらに充実したケアを提供する中核として2003年4月に設立されました。緩和ケアチームを統括し、がん性疼痛の緩和などの院内活動を通してその理念を実践するとともに、ホスピス病棟を有する施設への紹介、在宅ケアのための病診連携にも携わっています。

2006年4月からは精神腫瘍科医が赴任し、専門的な心のケアができるようになりました。当センターにはホスピス病棟はありませんが、患者さんやご家族のご要望に応えるため、在院中はホスピスに匹敵するケアが受けられるように努力しています。

*「精神腫瘍科」とは、精神(こころ)と腫瘍(がん)との間の相互作用にアプローチする領域です。がんに罹患すると人間の心理に計り知れない影響が出ます。また、その心理的影響が肉体に影響を与えます。その関係に関わり精神面での患者さんのQOLを改善しようという医療で、精神科の一領域と位置づけられています。



PCAポンプ



スーパーライザー

患者さん自ら一定量の鎮痛剤を追加投与できるPCA(自己調節鎮痛法)機能が付いた携帯用ポンプ。

生体深達性の最も高い光を用いた光線療法器。がんによる様々な痛みのコントロールに利用されている。

診察医の紹介 今回は、血液・細胞療法部です。

急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など、血液のがんの診療を行っています。抗がん剤や放射線がよく効くため、治療を目指した抗がん剤の多剤併用療法や造血幹細胞移植、そして新薬の治験など、患者さんの病状に応じて最適の治療を提供しています。

森島副院長はじめ血液・細胞療法部のスタッフ



Aichi Cancer Center News

平成19年1月1日現在の中央病院外来診療担当一覧です。

付時間：午前8時30分から午前11時30分まで

自動再来受付機)午前8時から午前11時30分まで

主な診療案内

| 診療科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------------|-------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|------------------------------|
| 総合初診 | 波多野 | 樋田 | 山雄 | 森島 | 中村(常) |
| 消化器内科 | 山雄(初診) 田近・河合 | 山雄(初診) 水野・河合・澤木 | 山雄(初診) 石川・澤木 | 澤木(初診) 中村(常)・石川 | 中村(常)(初診) 田近・水野 |
| 呼吸器内科 | 吉田(初診) 堀尾 | 樋田(初診) 吉田 | 清水(初診) 樋田 | 堀尾(初診) 清水 | (初診交代制) 樋田・吉田・ 堀尾・清水 |
| 循環器 | 波多野 | | | 波多野 | |
| 血液・細胞療法 | 山本(初診)鏡味・田地 | 森島(初診)・山本 | 鏡味(初診)・田地 | 森島(初診)・山本 | 田地(初診)・鏡味 |
| 薬物療法 | 室 | 宇良 | 室 | 宇良 | 室 |
| 頭頸部外科 | 長谷川・小川 | | 長谷川・兵藤 | (予約のみ) 寺田(第1・3)・ 小川(第2・4) (第5交代制) 長谷川・寺田・小 川・兵藤 | 寺田 兵藤(第2・4予約のみ) |
| 胸部外科 | (予約のみ) | 福井 | (予約のみ) | 光富・波戸岡 | 光富・篠田 波戸岡・森 |
| 乳腺科 | 藤田(初診) 角田・林 | 林(初診) 岩田・角田 | 角田(初診) 岩田・山下 | 山下(初診) 岩田・林・藤田 | 岩田(初診)・角田 山下・藤田(午前の み) |
| 消化器外科 | 山村(第2・4) 伊藤(第1・3・5)・小 森 | 金光・望月 | 加藤・山村・清水 | 佐野・平井・伊藤 | (予約のみ) |
| 整形外科 | 杉浦・山田 | 杉浦 | 山田 | | 杉浦(第1・3・5) 山田(第2・4) |
| 泌尿器科 | 林・小倉 | | 脇田・小倉 | | 林・脇田 |
| 婦人科 | 丹羽(初診) 水野(初診) | 伊藤(初診)・中西 丹羽(第1・3・5) 水野(第2・4) | 水野(初診、第1・3・5) 丹羽(初診、第2・4) 伊藤 | 中西(初診) 水野・丹羽 | 中西(初診) |
| 放射線診断・IVR科 | 稲葉(初診)・佐藤 | | 稲葉(初診)・山浦 | | 稲葉・名嶋 |

※ 医師名の後の数字は、月の週を表します。※変更(休診)等がございますので、お電話でご確認ください。

※ 再診予約制: 診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。

電話 052-764-2911(直通) 午前9時～午後5時(土・日・祝・年末年始除く)

交通案内



地下鉄利用:「自由ヶ丘」2番出口から 徒歩7分

- ◎ 名古屋・栄から 所要時間:名古屋から約30分
東山線「藤ヶ丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」乗車、「自由ヶ丘」下車。
- ◎ 金山・栄・大曽根から 所要時間:金山から約35分
名城線乗車、「自由ヶ丘」下車。

市バス利用:「千種台中学校」下車 徒歩4分

- ◎ 名古屋駅から 所要時間:名古屋駅から約40分
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車。
- ◎ 星ヶ丘から 所要時間:星ヶ丘から約20分
星丘11系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車。

所在地 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1-1

URL :<http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

Tel.(052)762-6111(代)

Fax.(052)764-1923